

2014 年 IEEE 東京支部 総会資料

2014 年 3 月 14 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2014年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2014年3月14日（金） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 6階 6D-1&6D-2
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2013年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2013年決算報告

第3号議案：2014年活動計画

第4号議案：2014年予算

講 演 会

日 時： 2014年3月14日（金） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者： 大野榮一氏（三菱電機 社友、IEEE Life Fellow）

（The 2013 MGA Achievement Award 、
2013 R10 Outstanding Volunteer Award 受賞）

演 題： IEEE Milestone 活動と日本の技術の世界への発信

新Fellow表彰式

日 時： 2014年3月14日（金） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2014年3月14日（金） 17時00分～19時00分

場 所： 機械振興会館 5階 倶楽部

2013-2014 年IEEE東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	津田 俊隆	(早稲田大学)
Vice Chair	副支部長	久間 和生	(三菱電機)
Secretary	セクレタリ	千葉 勇	(三菱総研)
Treasurer	トレジャラ	高村 誠之	(NTT)

2. 理事会メンバー

*	津田 俊隆	(早稲田大学)	*	河東 晴子	(三菱電機)
*	久間 和生	(三菱電機)	*	羽瀨 裕真	(茨城大学)
*	千葉 勇	(三菱総研)	*	奥田 治雄	(湘南工科大学)
*	高村 誠之	(NTT)		多田 邦雄	(東京大学)
*	藤代 博記	(東京理科大学)		大野 光平	(明治大学)
*	萩本 和男	(NTT)		青山 友紀	(慶應義塾大学)
*	小野 靖	(東京大学)		有本 由弘	(科学技術振興機構)
*	馬場 俊彦	(横浜国立大学)		河野 隆二	(横浜国立大学)
*	庄木 裕樹	(東芝)		原崎 秀信	(NEC)

(注： *印は、理事会の Voting Member。選挙で選出)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	藤代 博記 (東京理科大学)	東脇 正高 (NICT)	原 紳介 (東京理科大学)
Fellow Nominations	萩本 和男 (NTT)	松島 裕一 (早稲田大学)	碓塚 孝明 (NTT)
Membership Development	小野 靖 (東京大学)	石川 卓哉 (古河電気工業)	千葉 勇 (三菱総研)
Nominations	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	植之原 裕行 (東京工業大学)	荒川 太郎 (横浜国立大学)
Technical Program	庄木 裕樹 (東芝)	CHEUNG, Gene (国立情報学研究所)	松岡 秀浩 (東芝)
Publications	河東 晴子 (三菱電機)	松田 哲史 (三菱電機)	斧原 聖史 (三菱電機)
Student Activities	羽瀨 裕真 (茨城大学)	眞田 幸俊 (慶應義塾大学)	大越 康晴 (東京電機大学)
History	奥田 治雄 (湘南工科大学)	-	立木 武彦 (三菱電機)

IEEE 東京支部 2013年 活動報告

- 2013年 IEEE 東京支部総会 参加者：40名
3月14日(木) 14時30分～15時00分
- ・ 2012年活動報告、2012年会計報告、2013年活動計画、2013年予算の説明等の議事を行った。

- 理事会

第1回理事会：2013年 3月14日 (木) 12:00～13:45

議題

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2012年決算報告および監査報告
- ・ 2013年活動計画(審議)
- ・ 2013年予算(審議)
- ・ 2013年総会資料(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ Japan Council 理事会(2012年第3回)報告
- ・ 協賛依頼
- ・ Region 10 Meeting 報告
- ・ R10-HTC 進捗報告
- ・ MOU 締結と共催等の承認に関する手続きの進め方

第2回理事会：2013年 6月 6日 (木) 15:00～17:00

議題

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ MDC Chair 選出について(審議)
- ・ 委員会活動状況(報告)
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ 会計進捗状況(報告)
- ・ Japan Council 理事会(2013年第1回)(報告)
- ・ 協賛依頼(審議)
- ・ 支部提案 Milestone 進捗状況
- ・ R10-HTC 進捗報告

第3回理事会：2013年 9月12日 (木) 15:00～17:00

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 会計進捗状況(報告)
- ・ 委員会活動状況(報告)
- ・ Affinity Group 活動報告
- ・ Japan Council 理事会(2013年第2回)(報告)
- ・ 協賛依頼(審議)
- ・ 支部提案 Milestone 進捗状況
- ・ R10-HTC 報告

第4回理事会：2013年12月 5日 (木) 15:00～17:00

- ・ 前回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2013年活動報告および2014年活動計画案(審議)
- ・ 2013年決算予想および2014年予算案(審議)
- ・ History Committee 設立について(審議)

(総会—第1号議案)

- ・委員会活動報告/活動計画案 (報告)
- ・Affinity Group 活動報告/活動計画案
- ・支部提案 Milestone 進捗状況
- ・東京支部関連の表彰について

● 講演会

1) 3月14日(木) 15時10分～16時10分

演題: 「日本のカーナビ開発と技術的意義」

講師: 高橋 常夫 氏

エヌエフ回路設計ブロック 代表取締役社長

★2013 IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies 受賞

2) 4月26日(金) 10時45分～11時45分

演題: 「Ethernet technologies に関する標準化と今後の動向」

講師: Wael Diab 氏

Vice Chair, IEEE 802.3 Ethernet Working Group

3) 7月12日(金) 14時30分～17時00分

演題: 「セルラー電話網の先駆的業績---奥村先生ドレイパー賞受賞記念」

講師: 伊藤 貞男氏 (元 NTT 電気通信研究所 (通研))

座談会: 「セルラー電話網研究の立ち上げと実用化」

奥村 善久氏 (金沢工大名誉教授)、江口 真人氏 (元 NTT 通研)、

鎌田 光帯氏 (元 NTT 通研)、松坂 泰氏 (元 NTT 通研)、

吉川 憲昭氏 (元 NTT 通研)、伊藤 貞男氏 (司会)

4) 10月18日(金) 15時30分～17時00分

演題: 「音声・マルチメディア処理を中心とする研究・教育の40年と、
今考えていること」

講師: 古井貞照 氏 (東工大名誉教授、現在豊田工業大学シカゴ校学長)

★2010年 IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award受賞など

5) 10月29日(火) 14時00分～16時00分

東芝ラップトップT1100 Milestone受賞記念講演会

演題1 : IEEE Milestones の概要

講演者: 白川 功 氏(IEEE Japan Council History Committee Chair)

演題2 : Japan and IEEE: Moving forward with Innovation while Honoring
and Learning from the Past

講演者 : Dr. Peter Staecker (IEEE President and CEO)

演題3 : ラップトップPC T1100 ～IEEE Milestone受賞記念講演～

講演者: 西田 厚聰 氏(株式会社 東芝 会長)

6) 11月29日(金)

演題: CMOSにおけるキャリア輸送特性の理解と高性能化の道筋

講師: 高木信一 氏 (東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 教授)

★2013年IEEE Andrew S. Grove Award 受賞

Students Activities

- 1) 4月26日(金) Wael Diab氏講演会共催
- 2) 6月22日(土) 第9回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 3) 7月6日(土) 女性が拓く未来のテクノロジー ～Women in Engineering 2013～開催
- 3) 7月11日(木) IEEE Region 10 Student/GOLD/WIE Congress 2013 派遣
～14日(日)
- 4) 8月26日(月) 2013 リーダシップワークショップ@東北大学
- 5) 10月5日(土) IEEE Day Party 2013 開催
- 6) 10月16日(水) 「楽しむ電気電子回路」(農工大SB ワークショップ)
～11月13日(水)
- 7) 11月30日(土) 第10回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 8) 12月7日(土) The 10th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop

Affinity Group Activities

Young Professionals (Yps) (旧 GOLD)

- 1) 3月29日(金) 企業見学会 (住友電工・スマートグリッド関連施設)
- 2) 4月26日(金) Wael Diab氏講演会共催
- 3) 6月22日(土) 第9回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 4) 7月6日(土) 女性が拓く未来のテクノロジー ～Women in Engineering 2013～開催
- 5) 7月11日(木) IEEE Region 10 Student/GOLD/WIE Congress 2013 派遣
～14日(日)
- 6) 8月26日(月) R10-HTC への協力
～29日(木) Welcome Reception の企画・進行/Poster Session への投稿
- 7) 8月8日(木) The 2nd STEP Event "Fujitsu Tour and Researchers Seminar"
- 8) 11月30日(土) 第10回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 9) 12月7日(土) The 10th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop

Life Members

- 1) 1月25日(金) Newsletter 第8号発行/HP掲載
- 2) 3月14日(木) LMAG 総会
- 3) 4月30日(火) Newsletter 第9号発行/HP掲載
- 4) 7月12日(金) LMAG 主催/東京支部共催 奥村先生ドレイパー賞受賞記念開催
- 5) 7月12日(金) LMAG 役員会開催
- 6) 8月30日(金) Newsletter 第10号発行/HP掲載(予定)
- 7) 10月18日(金) LMAG/東京支部共催 古井貞熙氏講演会開催
- 8) 10月29日(火) LMAG/東京支部共催
東芝ラップトップ T1100 Milestone 受賞記念講演会開催
- 9) 11月29日(金) LMAG/東京支部共催 高木信一氏講演会開催予定
- 10) 11月29日(金) LMAG 役員会開催

Awards & Recognition Activities

- 新 Fellow 表彰式: 3月14日(木) 15時00分～16時00分
・新 Fellow は13名(9名が表彰式に参加)

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- Tokyo Bulletin を4回発行/HPに掲載した。
(1月31日、5月8日、10月1日、10月10日)

Other Organizational Activities

(総会—第 1 号議案)

- R10 Region 10 Annual General Meeting 2013 が 3 月 2 日～3 日タイ (チェンマイ) において開催され、津田 Chair が参加した
- IEEE Region 10 Student/GOLD/WIE Congress 2013 が 7 月 11 日～14 日までインド (ハイデラバード) において開催され、東京支部 Student Branch より 2 名、Tokyo GOLD より 1 名を派遣した
- Japan Council Chapter の Section 傘下移行のため、チャプター運営委員会を開催した

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681
2012	14,298	426	3.07	4	528	875	10,449	617	1,825
2013	14,384	86	0.60	4	525	879	10,538	461	1,977

IEEE東京支部2013年決算

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決 算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	15,341,400	16,152,962	105	\$1=¥90を想定
・支部リベート	2,741,400	3,041,993	111	US\$31,059@¥97.73
・Section Assessment	12,600,000	13,110,969	104	前期：\$131,441.65@¥93.59=¥12,301,624 後期：\$8282.29@¥97.72=¥809,345
◆雑収入	40,000	2,191	5	受取利息等
◆その他	-	661,908	-	監査費用本部より支援 (¥168,000) LM Fund(\$1,000@97.29=¥97,290) 東芝Milestone Plaque立替分(¥212,457) HTC費用の返金(¥171,311) IEICEより講演会費負担(¥12,850)
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	15,381,400	16,817,061	109	
支出の部				
◆Councilへの拠出金	12,600,000	13,107,969	104	Section Assessment全額 (受取手数料¥1,500*2回)
◆会合費	650,000	765,938	118	
・総会費	500,000	450,540	90	新Fellow記念品/資料印刷代/会場費
・講演会費	100,000	199,129	199	奥村先生講演会:予算外承認 ¥60,000 内¥12,850はIEICEより負担
・理事会費	50,000	31,819	64	2012年第4回理事会会場費 等
・その他会合費	-	84,450	-	Milestone/HTC/Chapter移行委員会 等
◆Committee活動費	50,000	105,132	210	LMAG Newsletter No.9, No.10発行費用 *LM Fund(\$1,000@97.29=¥97,290)
◆TOKYO GOLD支援費	130,000	143,931	111	ワークショップ、R10 Congress支援費 等
◆Student Branch支援費	1,000,000	953,921	95	ワークショップ、R10 Congress支援費、SBLW
◆事務局設備費	-	26,050	-	ホワイトボード、つい立購入
◆ITサービス運用費	860,000	859,950	100	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	5,000	3,500	70	宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	150,000	289,365	193	内¥168,000円は監査費用,全額本部より支援
◆予備費	820,000	1,113,227	136	*東芝Milestone Plaque代(2枚)立替 ¥212,457 (東芝より返金,内¥5,484は手数料) *2012年Milestone Plaque未払い分 ¥906,254 (\$9,105)
支出合計	16,265,000	17,368,983	107	
収支	-883,600	-551,922		
◆前年度繰越金	2,860,949	2,860,949	100	
◆次期繰越金	1,977,349	2,309,027	117	

財産目録

科 目	2013年12月31日	2012年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	2,309,027	2,860,949
○定期預金	16,698,343	16,698,001
◇現金・預金合計	19,027,370	19,578,950
◇その他流動資産		
流動資産合計:	19,027,370	19,578,950
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品		
◇減価償却累計額		
固定資産合計:	145,600	145,600
資産合計:	19,172,970	19,724,550
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計:		
3. 正味財産	19,172,970	19,724,550
負債および正味財産合計:	19,172,970	19,724,550
Statement of Activities		
I. 収益の部		
◇支部リポート	3,041,993	2,343,144
◇Section Assessment	13,110,969	11,270,877
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分)	661,908	1,679,647
◇受取利息	2,191	3,989
◇Section Congress支援費		
◇雑収入	342	
収益合計:	16,817,403	15,297,657
II. 費用の部		
◇会合費	765,938	2,444,628
◇Student Branch支援費	953,921	520,012
◇GOLD支援費	143,931	175,942
◇Committee費	105,132	279,100
◇Japan Councilへの拠出金	13,107,969	11,267,877
◇事務局費および一般管理費	1,178,865	1,228,509
◇予備費	1,113,227	601,523
◇Milestone Plaque費用		
◇減価償却費		
費用合計:	17,368,983	16,517,591
正味財産増減額	(551,580)	(1,219,934)
期首正味財産	19,724,550	20,944,484
期末正味財産	19,172,970	19,724,550
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
◇支部リポート	3,041,993	2,343,144
◇Section Assessment	13,110,969	11,270,877
◇予備費(Milestone/Section Congress)	661,908	1,679,647
◇受取利息	2,191	3,989
◇雑収入	342	
収入合計:	16,817,403	15,297,657
II. 支出の部		
◇会合費	765,938	2,444,628
◇Student Branch支援費	953,921	520,012
◇GOLD支援費	143,931	175,942
◇Committee活動費	105,132	279,100
◇Japan Councilへの拠出金	13,107,969	11,267,877
◇事務局費および一般管理費	1,178,865	1,228,509
◇予備費(Milestone/Section Congress)	1,113,227	601,523
◇固定資産等購入		
支出合計:	17,368,983	16,517,591
現金・預金増減額	(551,580)	(1,219,934)
期首現金・預金残高	19,578,950	20,798,884
期末現金・預金残高	19,027,370	19,578,950

IEEE Japan Council 2013年決算

単位：日本円

	2013年予算 (1/1～12/31)	決算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
収入の部				
◆IEEE本部勘定	896,970	1,046,199	117	予算ではUS\$1=¥87を適用
・Chapter (WIEも含む) Rebate	896,970	1,046,199	117	US\$10,705.00@¥97.73 (620US\$はWIE預かり分)
◆各支部よりの拠出金	20,880,000	23,470,823	112	US\$235,003.24 平均@¥97.51
・札幌支部		407,529		US\$4,165.27 @¥98.20(換金手数料¥1500 振込手数料¥840) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		1,130,946		US\$1,1532.04 @¥98.20(換金手数料¥1500 振込手数料¥420) 後期分：US\$426.59 @¥100.47(換金手数料¥1500)
・信越支部		418,091		US\$4,362.57 @¥96.18(換金手数料¥1500 振込手数料¥210) (後期分：次年度の前期に請求。)
・東京支部		12,300,124		US\$131,441.65 @¥93.593(換金手数料¥1500) 後期分：US\$82,825.29 @¥97.72(換金手数料¥1500)
・名古屋支部		2,164,359		US\$21,389.09 @¥101.26(換金手数料¥1500 振込手数料¥210) (後期分：次年度の前期に請求。)
・関西支部		3,762,653		US\$37,562.65 @¥100.21(換金手数料¥1500 振込手数料¥210) 後期分：US\$743.25 @¥97.25(換金手数料¥1500)
・広島支部		879,301		US\$8,960.58 @¥98.13(振込手数料¥630) (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		343,435		US\$12,056.66 @¥94.90(振込手数料¥525) (後期分：次年度の前期に請求。)
・福岡支部		1,144,177		US\$12,056.66 @¥94.90(振込手数料¥525) (後期分：次年度の前期に請求。)
◆雑収入	2,000	2,043,689	102,184	
		1,757		受取利息等
		825,342		HTC2013剰余分配(予定)
		1,000,000		HTC2013 Seed Money返金
		216,590		HTC2013立て替え分返金
◆旧東京支部積立金より	4,890,000	6,000,000	123	
◆その他		189,000		本部より監査費用受領
収入合計	26,668,970	32,749,711	123	
支出の部				
◆事務局費	12,510,000	13,391,784	107	
・給料諸給	8,000,000	8,910,297	111	交通費、労働保険、所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,900,000	2,718,795	94	管理費、光熱費を含む
・事務所設備費用	400,000	437,601	109	サーバ管理(一部)、インターネット費用など
・通信費	150,000	123,957	83	
・交通費	10,000	9,270	93	
・事務用品費	50,000	50,225	100	
・事務機器レンタル費	750,000	716,497	96	コピー機/ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	250,000	425,142	170	銀行手数料、監査費用立替
◆会合費	2,500,000	2,899,977	116	
・理事会・各委員会費	2,000,000	2,881,177	144	参加旅費を含む(JC理事会、各委員会)
・その他会合費	500,000	18,800	4	
◆Section支援費	1,500,000	1,474,887	98	仙台、信越2件、名古屋2件、関西4件、広島、四国、福岡
◆Chapter支援	5,500,000	3,418,409	62	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	937,931	47	SBLW(東北大学開催)
◆WIE支援費	300,000	164,626	55	2012年度分の返金 189,580円が今年に計上 2013年分の支援費合計 264,783円
◆予備費	800,000	800,000	100	HTC準備金拠出
◆旧東京支部積立金	4,890,000	6,000,000	123	返金
支出合計	25,110,000	29,087,614	116	
収支	1,558,970	3,662,097		
◆前年度繰越金	1,831,911	1,831,911	100	
◆次年度繰越金	3,390,881	5,494,008	162	

2014 年 活動計画

1. 財政運営

長い間続いた円高の影響で実質予算が減少し、過去の留保を消化する赤字体質が続いていて留保も残り少なくなっている。昨年後半から円安傾向になり、幾分かの改善は期待できるが財政の健全化のため東京セクションとしては理事会で決定された予算内での運営をこころがける。

2. Japan Council からの Chapter 移行の受け入れ

現在 Japan Council に所属している各 Chapter を適切なセクションに所属させる検討が進んでいる。東京支部は Chapter 設立支援委員会を中心に東京支部が所管となる Joint Chapter の設立に協力する。また移行後の東京支部における Chapter 運営を活性化する。

3. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

4. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

5. 委員会活動

5-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大学の 11 校で、日本全国の学生ランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学があり(全国合計 26 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動

が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

5-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、IEEE の全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

5-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年と同様に、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

5-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG、YPs ほか各グループとの共催を積極的に推進する。また、ビデオでの記録および配信など新しい工夫を試みる。

5-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

5-6. History Committee

History Committee を Standing Committee として設立し Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

5-6. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2008年11月に設立された Tokyo YPs Affinity Group(旧 GOLD)を中心に、学部卒業後10年間の YPs (Young Professionals) 会員向けの活動を活性化させる。

2010年10月に設立された Tokyo Life Members Affinity Groupを中心に、Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また、YPs、LMAGに加えてさらに JC WIE との連携・交流を推進する。

6. 本部および Region 10 との連携強化

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

R10-HTC2014 に参画するほか各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

7. 2014 年理事会/総会開催日程

第一回理事会/総会： 3月14日(金)

第二回理事会： 6月6日(金)

第三回理事会： 9月12日(金)

第四回理事会： 12月5日(金)

以上

IEEE東京支部2014年予算案

単位：日本円

	2014年予算案 (1/1～ 12/31)	備考
収入の部		
◆IEEE 本部勘定	15,390,000	US\$1=¥90を適用
・支部リポート	2,790,000	US\$31,000 (Gross) を想定
・Section Assessment	12,600,000	US\$140,000 (Gross) を想定
◆雑収入	5,000	受取利息等
収入合計	15,395,000	
支出の部		
◆Councilへの拠出金	12,600,000	Section Assessment全額
◆会合費	650,000	
・総会費	500,000	資料印刷代/会場費/記念品
・講演会費	100,000	
・理事会費	50,000	
・その他会合費	-	
◆Committee活動費	50,000	LMAG活動費等
◆Tokyo YPs活動費	130,000	
◆Student Branch支援費	600,000	
◆事務局設備費	-	
◆ITサービス運用費	860,000	
◆通信費	5,000	宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	150,000	銀行手数料等
◆予備費	350,000	Section Congress 2014費用
支出合計	15,395,000	
収支	-	
◆前年度繰越金	2,342,220	
◆次期繰越金	2,342,220	

2014年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	Toshio Iguchi 井口 俊夫	情報通信研究機構	<i>for contributions to spaceborne meteorological instruments and radar</i>
2	東京	Kazunari Ishimaru 石丸 一成	東芝	<i>for contributions to static random access memory and complementary metal-oxide semiconductor devices</i>
3	東京	Senichi Suzuki 鈴木 扇太	NTT	<i>for contributions to high-density integrated silica-based planar lightwave circuits for optical communications</i>
4	東京	Hiroshi Takahashi 高橋 浩	上智大学	<i>for contributions to arrayed-waveguide gratings</i>
5	東京	Kazuo Tanaka 田中 一男	電気通信大学	<i>for contributions to fuzzy control system design and analysis</i>

2014年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	Taiichi Otsuji 尾辻 泰一	東北大学	<i>for contributions to plasmonic semiconductor integrated device technology for terahertz sensing</i>
2	仙台	Migaku Takahashi 高橋 研	東北大学	<i>for contributions to thin film technology for high-density recording media and heads</i>
3	信越	Weihua Jiang 江 偉華	長岡技術科学大学	<i>for contributions to repetitive pulsed power generation utilizing solid-state device technology</i>
4	名古屋	Takunori Taira 平等 拓範	自然科学研究機構	<i>for contributions to micro solid-state photonics</i>
5	名古屋	Hisao Taoka 田岡 久雄	福井大学	<i>for contributions to computing technology for power system analysis and control</i>
6	名古屋	Keiichi Tokuda 徳田 恵一	名古屋工業大学	<i>for contributions to hidden Markov model-based speech synthesis</i>
7	関西	Hisao Ishibuchi 石渕 久生	大阪府立大学	<i>for contributions to evolutionary multiobjective optimization and fuzzy rule-based classifier design</i>
8	関西	Toru Shimizu 清水 徹	ルネサス エレクトロニクス	<i>for development of integrated multi-core microprocessors with large memories</i>

2014年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE ROBOTICS AND AUTOMATION AWARD	広瀬 茂男 HiBot Corporation	<i>For contributions to the design and construction of multiple nonconventional robotic systems such as snakelike, quadruped walking, wall climbing, and swarm robots</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.

Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History**
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting **on 14th March 2014.**

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org